

学校教育目標

笑顔で

かしこく

たくましく

# 上谷の丘

～ 本当の笑顔と学びがある学校を ～

坂戸市立上谷小学校 学校だより

令和4年3月18日 NO. 25

文責 校長 柴崎 利美

児童数182名（3月18日現在）

## 卒業式前夜

～ 期待と不安・吹き飛ばせ6年上谷っ子

堂々と正面からぶつかっていこう～

6年生は「小学校生活最後の〇〇」が続いています。昨日は卒業式予行の後、奉仕作業でグラウンドにグリーンダストをまいて整地してくれました。また、古い机や椅子の解体に力を発揮してくれた6年生もいます。その働きっぷりは見ていると非常に気持ちがいい。疲れを知らないというか、体全体がバネと言うか「次はもうないのですか？」と、どこまででも行ってしまおう勢いです。中学校へ行っても学校生活・部活動にすぐにでも順応できそうです。なるほど未来を切り開いていくのはいつの時代も「若い人たち」なのだと思えます。熱量が違うのです。

卒業式の練習ですが非常に立派な取り組みをしています。児童によってはかなりの緊張が感じられます。儀式的行事であり人生の節目、ハレの日であるのですから、それでいいと思います。思い切り緊張して、そして自分で対処の仕方を学んでもらいたいと思います。今年度もコロナの影響で本来の卒業式の形態がとれないのが残念ですが、とても引き締まった卒業式となる予感がします。今年も西門の桜並木で「上谷一番咲きの桜」が開花しました。卒業する6年生を今年も見守ってくれています。



### … 3月のお話朝会(抜粋) …

今回は「上谷っ子の未来」について話します。はじめは、「勉強のこと」です。

1. 上谷っ子はこれからもたくさん本を読みます。
  2. 上谷っ子はこれからも笑顔で授業に参加します。
  3. 上谷っ子はこれからもなぜ? どうして? を大切にします。
- 次は「遊びのこと」です。
1. 上谷っ子はこれからも思いっきり遊びます。
  2. 上谷っ子はこれからも仲間外れを作りません。
  3. 上谷っ子はこれからも工夫して遊びます。

最後に「生活のこと」です。

1. 上谷っ子はこれからはもうそをつきません。

2. 上谷っ子はこれからは約束は守ります。
3. 上谷っ子はこれからはどこでも本当の笑顔で生活します。

今日は「上谷っ子の未来」について。はじめに「勉強のこと」次に「遊びのこと」最後に「生活のこと」をお話しました。

( 聴き取り→ 記憶保持→ 書き出し→ よくできた子・伸びた子を掲示 )

先月、学習発表会（授業参観）時に4年生で「1／2成人式」を行いました。体育館でそれこそ卒業式のようなやり方・雰囲気で行いました。参加態度も立派でした。

## 1／2成人式に寄せて（校長の言葉）

4年生のみなさん、今日は1／2成人式、おめでとうございます。10歳という区切りをみなさんはどう感じていますか。10年も生きてきた。10年しか生きてない。別に何も思わない。今日の給食の方が気になる。様々だと思います。先生がその頃のことを思い出しますと、隣の女の子にいわゆる友達だけではない、友達ともなにか違う気持ちをはじめて持ったのが小学校4年生でした。何かわかりませんが、お話をすることがとても楽しかった。5年生になる時、クラス替えで違うクラスになったことが、とてもショックでした。



自分の得意なことに気付くことも10才前後だと思います。先生がすんでいた町は小さな田舎町でしたが、町のプラモデル制作コンテストで表彰されたこともあります。何か創ることが好きで、いつの間にか得意になっていたのです。



さて、世界ではある年齢の区切りで「大人になった」という儀式をする国や地域が多くあります。日本では「元服」といって12才前後になれば、和の正装をして男子で言えば和服（袴）に烏帽子、女の子で言えば十二単のような着物を着てその日を迎えました。仙台藩藩主、伊達政宗公は11才で元服しました。男子は戦や仕事に駆り出されたり、女子は結婚をしたりという年齢だったのです。

アフリカのある地域では、男子は村の20才のリーダーと共に異年齢集団で狩りに出て1か月ほど自宅にもどってきません。20才のリーダーを中心に狩の勉強（生きて行く）をするのです。女の子は村に残り、食事や裁縫、子育てのことを村の女性に学びます。

現在のみなさんは、近い将来は中学生になることが大きな変化だと思いますが、昔は皆が生きて行くために期待され、いやでも大人の社会に放り込まれました。4年生のみなさんも大人になった気持ちで今までの「子供」とは違う、少し背伸びをした「大人」の考え方や行動をしてみてください。そして自分の得意な事、好きなことに熱中してもらいたいと思います。

## 保護者地域の方々による放送劇「グスコブドリの伝記」

3月14日（月）～17日（木）に昼の放送にて保護者地域の方々による放送劇「グスコブドリの伝記」を放送しました。低学年の子供達にはちょっと難しかったかもしれませんが、所々お父さんやお母さんの声がしたり、地域の方の音が聞こえてきたりで親しみが持てたのではないのでしょうか。PTAだよりでも紹介していただきましたが、協力していただきました保護者、地域の方に改めて感謝いたします。

